

これまでの会議等で出された環境都市像に関する主な意見等について

1 環境審議会（平成26年3月25日）	対応状況
<p>① 宇都宮市が掲げるネットワーク型コンパクトシティや、もったいない運動、LRTなどの特徴的なキーワードを大事にして、どのような都市にしていきたいかなどの全体構造と環境活動との調整を上手にとりいれていくべき。</p> <p>② 経済、福祉、教育、安全など、全て環境で集約されてくる時代と認識する必要がある。</p> <p>③ 環境教育はとても重要、総体的に進めるべき。</p> <p>④ LRT、自転車の街の推進、交通政策、環境政策が大きく関わっており、その整合性が取れて初めて「環境都市宇都宮」ができる。</p>	<p>【①②③④】 環境都市像を検討する中で反映</p>
2 環境審議会（平成26年11月5日）	対応状況
<p>① 前期計画の評価やアンケート調査結果、地域特性などの様々なデータに基づき整理しており、環境都市像の方向性の導き出し方は良い。</p> <p>② 宇都宮市の特性や地域性、気象の変化など様々な視点から、今後の環境を考えていくべき。</p> <p>③ 宇都宮市ならではの視点で、市民に分かりやすいような基本計画を改定していくことが重要である。</p> <p>④ 環境負荷が低い住宅や、モビリティとの融合（公共交通やLRT、自動車等）など、市民ニーズに捉われ過ぎず、我々が進めていきたい方向性と市民の意識を総合して、次の環境施策に反映していくべき。</p> <p>⑤ 「もったいない」は他の自治体にはない運動であり、対外的にアピールできる取り組みである。</p> <p>⑥ 市民から見ると、記載されている環境都市像の方向性は難しい印象を受ける。</p> <p>⑦ そこに住んでいる人々の心を動かす、もしくは参加させるということが大切だと考える。市民の心を動かすような言葉が入ると良い。</p>	<p>【①②】 ステップ1で反映</p> <p>【③④⑤⑥⑦】 環境都市像を検討する中で反映</p>

3 学識経験者からの意見(平成26年12月22日)	対応状況
<p>① 都市機能と自然の両方が存在するところに宇都宮らしさがある。その「住みよさ」と環境がリンクしているところが見えると良い。</p> <p>② ステップ2までに整理された多くの内容は他の自治体でも言えることでもあり、宇都宮市の特徴を明確に打ち出していく必要がある。</p> <p>③ 文章においては、当たり障りのない表現に留まっているため、特徴が浮かびあがらない。従って、LRT等、市がコミットメントできているものはキーワードとして加えることも考えられる。</p> <p>④ 宇都宮市の特徴の一つは、自転車のまちであると考え。自転車走行帯の延長は東京都よりも長く、日本一である。自転車関連のイベントも多く開催されており、自転車の聖地である。</p> <p>⑤ LRTを20年近く研究しており、ゼロから整備しようとしている自治体は宇都宮市が初めてである。空間形成のベースとして、明らかに宇都宮であるという要素が必要である。</p> <p>⑥ 「宇都宮ブランド戦略」が実施しているアンケート調査結果が参考になる。生活面では、2地域に居住する「ダブルプレイス」も市の施策の特徴である。</p> <p>⑦ 「空間」「社会システム」「生活」の見せ方について、全てをイラスト化するのは難しい。「空間」は可視化できるが、「社会システム」は可視化が難しいため、システム図や目標値などで定量化すると良い。「生活」はストーリーが必要であるので、漫画化や動画化などの工夫が必要である。</p>	<p>【①②③④⑤⑥】 ステップ3で反映</p> <p>【⑦】 環境都市像のイメージ図を具体化していく中で対応していく予定</p>
4 学識経験者からの意見(平成27年1月29日) ※ 3の意見を基に修正した内容に対する意見	対応状況
<p>① 環境都市像を検討するにあたり、ステップ3（「宇都宮市の特徴（強み・誇り）」）を入れたことで具体的な状況が分かってよくなったと思う。</p> <p>② 将来の環境都市像を導き出す考え方、検討方法など多岐の分野がよく整理されている。</p> <p>③ 最終ページの環境都市イメージの提示が重要である。ポンチ絵でも概要はわかるが、もっと具体的な画像が入ると市民にとって理解しやすいと思う。</p> <p>④ 拠点内、拠点周辺、自然のそれぞれについて、建物、公園、農地、自然のあり方（あるものだけ）を簡単に記述した方が分かりやすそう。</p> <p>⑤ もともとの地形や地域資源を活かすこと、ネットワークにすることなども重要な点になると思う。</p> <p>⑥ 現状の良さと現計画を踏まえながらも、（見直しによって）中長期的に見てさらに追加されるべきビジョンがここに明確になるとさらに良い。</p> <p>⑦ 将来の環境都市の姿は、「生活」と「社会システム」と「空間」を一度ひとまとめにしたコンセプトにして、その後でまた分ける方がばらばら感を減らすことができるかもしれない。</p>	<p>【③④】 環境都市像のイメージ図を具体化していく中で対応していく予定</p> <p>【⑤⑥⑦】 目指すべき環境都市の姿の中で反映</p>